



平成 17 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社スクウェア・エニックス
代 表 者 名 代表取締役社長 和 田 洋 一
(コード番号 9684 東証第一部)
問 合 せ 先 経営企画部長 佐々木 通博
(TEL. 03-5333-1555)

中間期および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 24 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 18 年 3 月期中間期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 24 日公表)	26,000	2,000	800
今 回 修 正 予 想 (B)	26,500	2,600	2,000
増 減 額 (B - A)	500	600	1,200
増 減 率 (%)	1.9	30.0	150.0
(ご参考)前中間期実績 (平成 17 年 3 月期中間期)	24,395	6,133	3,133

(2) 平成 18 年 3 月期通期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 24 日公表)	90,000	27,000	15,500
今 回 修 正 予 想 (B)	136,000	28,500	17,500
増 減 額 (B - A)	46,000	1,500	2,000
増 減 率 (%)	51.1	5.5	12.9
(ご参考)前期実績 (平成 17 年 3 月期)	73,864	25,901	14,932

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成 18 年 3 月期中間期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 24 日公表)	23,000	2,100	1,200
今 回 修 正 予 想 (B)	23,000	2,100	2,400
増 減 額 (B - A)	-	-	1,200
増 減 率 (%)	-	-	100.0
(ご参考) 前 中 間 期 実 績 (平成 17 年 3 月期中間期)	19,170	4,878	2,758

(2) 平成 18 年 3 月期通期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 24 日公表)	75,000	21,000	12,000
今 回 修 正 予 想 (B)	75,000	21,000	13,000
増 減 額 (B - A)	-	-	1,000
増 減 率 (%)	-	-	8.3
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 17 年 3 月期)	63,950	23,533	13,562

3. 修正の理由

(1) 平成 18 年 3 月期中間期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)について

ゲーム事業のおかれている市場環境は厳しいものでありましたが、その他のオンラインゲーム事業、モバイル・コンテンツ事業、出版事業、その他事業は全て順調に推移し、連結経常利益が前回公表値を上回ったことによる修正であります。中でも映像コンテンツ「ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン」(DVDとUMDで発売)は、2年連続ヴェネチア国際映画祭に出品されるなど映像作品として高い評価を得た結果、好調な販売を記録いたしました。

上記の修正に加え、株式会社マッグガーデンの株式売却益の発生などにより、中間純利益が前回公表値を上回ったことによる修正であります。

(2) 平成 18 年 3 月期通期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)について

(1)の中間期の修正に加え、株式会社タイトーが新たに連結子会社になったことにより、平成 18 年 3 月期下期の業績予想を加味したことによる修正であります。

株式会社タイトーは、平成 17 年 9 月 28 日に当社の連結子会社となっており、下期のみの連結対象となるため、同社の中間期業績は当社の連結業績に影響ありません。

以 上